



人材育成奨学計画 (JDS) (無償資金協力)

事業概要

「人材育成奨学計画 (JDS)」は、日本政府の無償資金協力により実施される奨学金事業であり、日本の大学院での留学を通じて、ウズベキスタン政府の行政官の能力強化を図ることを目的としています。本事業では、ウズベキスタンの国家開発ニーズに対応する重点分野において、若手行政官に対し、日本の主要大学で修士課程および博士課程を履修するための全額奨学金を提供しています。

JDS奨学生は、修了後に帰国し、日本で修得した専門知識、政策立案能力および実務能力を活かして、政策形成、行政運営、社会経済開発に貢献するとともに、日本とウズベキスタンの長期的な友好・協力関係の強化に寄与することが期待されています。

事業目的

本事業は、効果的な政策立案および制度改革を通じてウズベキスタンの社会経済開発を担う、高度な知識・技能・リーダーシップを備えた行政官の育成を目的とするとともに、日本とウズベキスタンの長期的な協力関係のさらなる強化を目指しています。

事業の概要



事業期間

1999年～現在（継続中）



年間派遣人数

18名



事業規模

- 1999年よりウズベキスタンで実施
- 事業開始以来、440名を超えるウズベキスタンの行政官等が本事業を通じて日本で留学



期待される成果

- ✓ エビデンスに基づく公共政策の立案・実施を担う政府機関の能力向上
- ✓ ウズベキスタンの長期的な社会経済開発を支える行政機関のリーダーシップの強化
- ✓ 日本とウズベキスタンの協力関係のさらなる強化